

# 授業計画書(シラバス)

教科名	キルンワークⅠ	曜日 時間	水:9:10~15:50	担当教員名	准教授 松藤孝一
-----	---------	----------	--------------	-------	-------------

	前期指導案			後期指導案		
(年間 27回 授業日)	4月	14 21 28	10月	6 13 20 27		
	5月	12 19 26	11月	10 17 24		
	6月	2 9(PM) 23 30	12月	1 8 15		
	7月	7(PM) 14	1月	12 19 26		
	9月	1 8	2月	2		
方授 法業	( 講義 ・ (実技) )			( 講義 ・ (実技) )		
授 業 内 容	<p>素材としてのガラスを重要視しながら、キャストイング、パート・ド・ベール、フュージング、スランピングといったキルンワークの技術を修得していくことになる。</p> <p>スケッチブックは、アイデアを整理そして発展させていく上で有効であり、その記録が担当教員とのコミュニケーションに役立つ道具として活用される。同じく、常に制作データ(ガラスの配合や電気炉の温度スケジュールなど)をスケッチブックに記録させる。</p> <p>学生にとって初めてのキルンワークの授業ということで、学生に対して分かりやすい指導を心がける。</p>			<p>前期に学んだ素材や技術をベースに、新たな表現の手法を探し求める。 また、引き型やプレス型などの新たな技法を得ることにより、自分の求めるかたちを作品に取り入れられるようにする。</p> <p>授業を通して、学生が、素材や技法、プロセスをトータルで考え始める機会にする。また、作品の最終展示まで責任を持たせて制作させる。</p> <p>2年次に問題なくキルンワークの制作が自分で行えるように、年間を通してキルンワークの基礎をしっかり身に付けさせる。</p>		
到達 目標	この授業では、素材の感覚を得ることが目標である。また、素材を通して、キルンワークの基本的な技法を得ること。			学生が、素材、技術、またそのプロセスを総合的に考えること、また、作品の最終展示まで責任を持つことが目標である。		
成績 評価 基準	成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／提出期限の厳守／授業の目標水準の到達／出席状況など。			成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／提出期限の厳守／個人の成長度／出席状況など。		
留意 事項	作品制作に先立つアイデアスケッチや研究で収集した資料など全て作品制作と同様に指導する。常に自分のテーブルとその周りを責任をもって管理し、石膏室やワックス室等を使用した後はきちんと清掃を行わせる。			作品制作に先立つアイデアスケッチや研究で収集した資料など全て作品制作と同様に指導する。常に自分のテーブルとその周りを責任をもって管理し、石膏室やワックス室等を使用した後はきちんと清掃を行わせる。		